

事業所名

たいよう児童デイサービス船堀

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		こども一人ひとりの個性と意思を尊重し、安心して自分らしく成長できる環境を提供します。こどもとご家族に寄り添い、地域や関係機関と連携しながら、こどもの将来の自立と社会参加を支援します。					
支援方針		子供たちとご家族が充実した日々を過ごせる様に、5領域を勘案した療育を行う。					
営業時間		13 時	30 分から	17 時	45 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	身辺自立が出来るように支援を行う。 生活リズムや生活習慣の確立を行う…スケジュールの掲示や時間を意識した行動が出来るよう、生活リズムの構築をする。					
	運動・感覚	身体全体を使い運動機能の強化、バランス感覚などを遊びや活動を通して学び、身体のコントロールを身に付ける。 障害の特性に合った姿勢で活動に参加出来る様に支援を行う。					
	認知・行動	特性に合わせた学習や学び、体験を行う事で、様々な物・事を認知出来る様にする。 始まりの会や終わりの会を行い、時系列・ルーティン化する事により先の見通しが持てる様に支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	日々の活動を通して他児童とのコミュニケーション、理解が出来るように支援を行う。 帰りの会で日直を行い、他児童の前で発表をする機会を設ける。 「ありがとう」や「～をする」など行動に沿った声掛けを行い、他児童とコミュニケーションを図れる様に支援を行う。					
	人間関係 社会性	職員とたくさん関り、信頼関係を築ける様に支援を行う。 外出や散策を通して、社会に触れる機会を多く作り社会資源の活用を行っていく。					
家族支援		保護者様が子育てに悩みがないか常に話す機会を設け、事業所全体・または関係機関等に相談や回答を行える様にする。				移行支援	家族へ情報の提供や移行先の相談・調整等を行う。
地域支援・地域連携		地域と交流が出来る機会を設け、地域資源の活用を進め、家族が暮らしやすいように支援を行う。				職員の質の向上	事業所全体での研修や支援改善研修を年に数回行う。 外部の研修に各自1回以上の参加を義務とする。
主な行事等		夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・誕生会 外出・消防署見学や京成バス車庫見学・水族館・生物園・各資料館・科学博物館見学などの社会資源見学を随時行っている。					